



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社

コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 治克

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 橋本 彰 TEL 0776-53-9200

四半期報告書提出予定日 2018年8月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	2,739	3.2	974	15.4	984	15.0	794	44.3
2018年3月期第1四半期	2,653	10.0	844	10.5	856	10.6	550	9.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 636百万円 (△3.0%) 2018年3月期第1四半期 656百万円 (173.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	38.43	—
2018年3月期第1四半期	23.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	12,780	8,735	68.3
2018年3月期	13,628	8,760	64.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 8,735百万円 2018年3月期 8,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2019年3月期	—				
2019年3月期（予想）		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,446	△1.2	1,780	△7.0	1,802	△6.9	1,170	△6.1	56.59
通期	11,080	1.6	3,710	0.6	3,740	0.2	2,430	0.3	117.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	23,000,000株	2018年3月期	23,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,324,333株	2018年3月期	2,324,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	20,675,667株	2018年3月期1Q	22,975,707株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）における当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,739百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益974百万円（前年同期比15.4%増）、経常利益984百万円（前年同期比15.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益794百万円（前年同期比44.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築CAD事業

2019年10月に予定されている消費増税の影響で、2018年4月より住宅着工件数は前年同期を若干上回る結果となりました。また、政府が推し進める「2020年までに、標準的な新築住宅でZEHを実現する」政策は、3省（国土交通省、経済産業省、環境省）連携で継続しており、「ARCHITREND ZERO温熱環境計算シミュレーション（外皮性能計算）」の導入は順調に進んでおります。なお、経済産業省のIT導入補助金は継続となりましたが、1案件あたりの補助額は昨年度の半分の金額となりました。しかしながら、将来、建築業界の深刻な人手不足が予測される中、働き方改革でIT導入への投資意欲の高まりもあり、建築CAD事業の売上高は1,353百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は391百万円（前年同期比50.2%増）となりました。

②測量土木CAD事業

国土交通省が推進する「i-Construction」は3年目を迎え、建設生産システム全体の生産性は確実に向上しています。また「深化の年」と位置付けられた2018年度は、ICT浚渫工（河川）等の工種拡大・CIMの更なる活用・測量におけるICT活用拡大が推進テーマとなっています。

当社グループでは、土木測量業界の3次元化で生産性向上を支援する「3Dアクションプラン2018」を積極的に展開しています。測量分野ではドローンやレーザースキャナーの普及により3次元計測ニーズは拡大し、3次元データをスムーズに扱うことを可能にした64bitアプリケーション「TREND-ONE」への既存システムからのシステムチェンジが好調に推移しました。土木分野では「i-Construction」に対応した点群処理システム「TREND-POINT」の導入拡大は若干鈍化しましたが、現場の3次元見える化を進める建設会社へのCIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE」の導入が加速しています。

この結果、測量土木CAD事業の売上高は1,386百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は555百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は12,780百万円となり、前連結会計年度末より848百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

負債合計は4,044百万円となり、前連結会計年度末より823百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は8,735百万円となり、前連結会計年度末より25百万円減少しました。これに伴い、自己資本比率は68.3%となっております。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,269	5,233
受取手形及び売掛金	1,620	1,687
商品及び製品	11	11
仕掛品	6	8
原材料及び貯蔵品	8	6
その他	515	964
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	8,425	7,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,340	1,322
土地	1,085	1,085
その他(純額)	87	82
有形固定資産合計	2,513	2,491
無形固定資産	51	65
投資その他の資産		
投資有価証券	1,858	1,630
繰延税金資産	386	288
その他	402	404
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	2,638	2,315
固定資産合計	5,203	4,872
資産合計	13,628	12,780

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39	37
未払法人税等	706	85
前受金	2,111	2,332
賞与引当金	395	212
役員賞与引当金	56	13
その他	1,253	1,113
流動負債合計	4,563	3,796
固定負債		
繰延税金負債	305	248
固定負債合計	305	248
負債合計	4,868	4,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	9,593	9,726
自己株式	△5,408	△5,408
株主資本合計	7,912	8,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	847	689
その他の包括利益累計額合計	847	689
純資産合計	8,760	8,735
負債純資産合計	13,628	12,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	2,653	2,739
売上原価	618	577
売上総利益	2,034	2,161
販売費及び一般管理費	1,190	1,187
営業利益	844	974
営業外収益		
受取配当金	9	6
受取保険金	0	1
受取手数料	1	2
その他	1	0
営業外収益合計	12	10
経常利益	856	984
税金等調整前四半期純利益	856	984
法人税、住民税及び事業税	74	79
法人税等調整額	231	110
法人税等合計	305	190
四半期純利益	550	794
親会社株主に帰属する四半期純利益	550	794

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	550	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	△158
その他の包括利益合計	105	△158
四半期包括利益	656	636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	656	636
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,279	1,373	2,653	—	2,653
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,279	1,373	2,653	—	2,653
セグメント利益	260	573	834	9	844

(注) 1. セグメント利益の調整額9百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,353	1,386	2,739	—	2,739
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,353	1,386	2,739	—	2,739
セグメント利益	391	555	947	27	974

(注) 1. セグメント利益の調整額27百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。